

地域支援活動

授業で学ぶ→地域に還元→即戦力！

1. 実践活動1 (地域支援活動)

1年生からの学びを活かす時！生きる力を学ぶ家庭総合、生活産業基礎やファッション造形基礎、フードデザインなどの専門科目を通して身に付けた知識と技術を最大限に活用しました。保育園・幼稚園、高齢者福祉施設、図書館ではミシンを使っての製作物提供、展示物作成ではパソコンを使ってのデザイン、飲食店にはオリジナルマスコット、美容室には髪飾り、小学校では立場が変われば考え方も変わることを学び、休耕田を活かそうとえびの市のSAP（若手農業団体）との連携活動を行ってきました。

水曜日（5・6限目）	金曜日（5・6限目）
企画・実践準備・リフレクション	実践（5月中旬から10末まで）
<ul style="list-style-type: none"> ○正一：ご当地グルメコンテスト試作 マスコット製作 SAPラベル作り ○SAP：スイートコーン、トマト、カラーピーマン、唐辛子栽培 各農場での活動 ○A-COOP：POP作成 ご当地グルメコンテスト試作 ○RIZHAIR：ヘアゴム、アクセサリ製作 ○グループホームあおい：コースター製作 カレンダー付き塗り絵の作成 ○シルバーケアステーションほうよう：ティッシュケースカバー製作 デイサービス利用者向け「お楽しみ会」企画 レクリエーション考案 ○飯野保育園：壁飾り製作 水遊び遊具の製作 ボタン付け練習用キット製作 ○第二和光幼稚園：運動会内容検討 盆踊りの花作り ○えびの市民図書館：雑巾製作 めいぐるみ補習 大型ブックバックの製作 ○飯野小学校：親子クッキング企画 先生補助 	
活動内容の一部です	



2. 実践活動2 (ご当地グルメコンテスト・えびの産業祭出店)

休耕田の活用や高校生に農業へ関心を持ってもらいたいという思いから連携を開始しました。SAP（若手農業団体）との連携活動を昨年度末から始め、学校菜園に、スイートコーンやトマト、カラーピーマン、唐辛子を栽培。また、8月にはご当地グルメコンテストへ参加しました。SAP、えびの市役所、3年C組の三者間連携で見事成功！メニューは、青春SAPライス～霧峰牛を添えて～でした。また、小高連携で飯野小学校5年生と生活文化科1年生で田植えと稲刈りを実施し、そこで実ったお米を「秋の実りごはん」と「米っ粉シフォンケーキ」へと調理し、JA女性部の方々とのコラボ商品として販売しました。大量調理の大変さや販売の仕方なども体験させてもらい、大きな収穫となった活動となりました。



3. 実践活動3（子育て支援活動・お楽しみ会）

昨年度の先輩方の活動を引き継ぎ、夏と秋に子育て支援活動を計画しました。えびの市地域子育て支援センターと連携させていただき、当日の運営などサポートしていただきました。子どもたちの感覚機能や運動機能を活かした遊びの考案を行い、さらには、子育て支援のためにだっこひもカバーやよだれカバーを製作しました。2月には普通科探究活動の子育て支援（Nogiku）にも協同・共同活動をする予定です。また、高齢化の進んでいるえびの市。高齢者の方々の生活を支える高齢者福祉施設のディサービスを利用されている方へお楽しみ会を1月下旬に実施しました。

心や体への効果を考えプログラムを企画し、当日は多くの利用者の方がいきいきと参加されていました。楽しいひとときを過ごしていただきました。



4. 実践活動4（小中学校授業サポート）

えびの市内の小・中学校への授業のサポートを実施しました。保育、被服、食物とあらゆる分野で、小・中学生に少しでも家庭科の魅力を感じてもらいたいという思いで連携させてもらっています。日頃の学びを実践できるよい機会です。家庭科こそ「生きる力」を学ぶ時間であると思っています。



○生活産業基礎では、、、

ヒューマンサービス分野の学習の発展として、えびの市民図書館「おたのしみおはなし会」を年に5回担当しています。



小高連携の一環として、田植え、稲刈りを飯野小学校5年生と一緒に
います。



○家庭総合・家庭基礎

保育分野の学習で、保育園訪問を取り入れています。



○フードデザイン・ファッション造形基礎

小学生・中学生に講習会を実施！

